

## ホスピタルプランについて(北海道)

ホームページをリニューアルする前にホスピタルプランを提唱しておりました。

このホスピタルプランは北海道において札幌の病院に地方から通院される方達の経費を削減することが目的でした。

地方から札幌の病院に通院される方達は大抵付き添いの方と来られます。

病院によっては患者の宿泊施設を備えた所もございますが多くの方はビジネスホテルに宿泊されて病院に2,3日通うというのが現状です。

小児科に通う子ども達とその父兄の宿泊費無料のプランは有名なマクドナルドのファミリーハウスがございますが大人の通院患者と付き添い者に対するサービスは無いのが実際でした。

宿泊費の負担が大きく通院もままならない方達も増えてきたことを聞きホスピタルプランを提唱した次第です。

弊社スタッフが札幌市内ビジネスホテルに赴きプランの趣旨と安価に宿泊できるようお願いし、10件を超えるホテル、旅館から賛同をして頂きました。

「弊社 HP (2lala.net) でホスピタルプランを宣伝。

ホスピタルプラン賛同協力ホテルの HP 掲載。

弊社は HP 掲載及び宿泊費用からも利益を頂かず完全なボランティアとすること。

病院からの証明あればホテル側は患者、付き添い者に特別価格でお部屋を提供。」

しかし、リーマンショックや震災以降、低迷する観光業界ではホテル支配人、社員のリストラでホスピタルプラン自体が空中分解した状態になりました。

患者とその付き添い者がホスピタルプランで弊社 HP (2lala.net) から申し込みをしてもホテルの従業員が何のことやら分からず宿泊に至らなくなったのです。

残念ながらマネジメントの失敗です。

疲弊する北海道経済を考えると観光業頼みの地域経済への貢献も果たせると思っていたのですが。

弊社はもともとサーバーを提供し弊社 HP で宣伝するだけで金銭負担はゼロでスタートし、利を要求するつもりは無いことを予めホテル側に伝えてありました。

しかし、ホテル側はこのプランを利用し繁忙期以外の宿泊客を獲得すべく病院サイドに営業もかけていなかったのです。

この HP からの集客はあったのですからこのプランを利用して一層の企業(ホテル)のイメージアップに繋がるための行動がなかったのは残念です。

宿泊のリピーターすらいたのですがホテル側の担当がいなくなれば全てが機能停止。

実効性のあるコラボの感覚は札幌のビジネスホテルには無かったわけです。

経営者以下、安価なバイト頼みの経営体質が染み付きサービスは最低と言われる北海道観光業界の悪しき慣例を打破しようという志がなかったのです。

平成23年3月をもってホスピタルプランは終了させていただきました。